大会名称: **東日本大震災復興支援**
第9回全日本社会人バスケットボール選手権大会

開催場所: **広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ) Dコート**

試合区分: **No. 25 女子 準決勝**

期 日: **2013(H25)年11月4日 (月)** 主審: **小島 慶子**

開始時間: **09:30** 副審: **竹島 則夫、小川 裕之**

山形銀行 (実業団1)	○ 65	21 − 12 10 − 11 20 − 11 14 − 20 − − −	● 54	鶴屋百貨店 (実業団3)

NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		相澤 妹佳	0	0	0	0	0	4	*	伊藤 恵夢	12	0	6	0	1
5		糸井 貴子	0	0	0	0	2	5		内田 結日	−	−	−	−	−
6	*	赤川 愛	6	0	3	0	2	6	*	田中 愛已	11	0	5	1	5
7		本田 雅衣	8	2	1	0	2	7	*	坂田 奈菜実	14	0	7	0	3
8		渋谷 実菜子	7	1	1	2	1	8	*	守田 佳代	4	0	2	0	1
9	*	佐藤優香	0	0	0	0	0	9		小林 亜里奈	−	−	−	−	−
10	*	阿部愛美	13	1	5	0	1	10		瀬井 香織	−	−	−	−	−
11		青山彩七	0	0	0	0	0	11		濱本 愛梨	6	0	1	4	1
12	*	宮崎 優子	4	0	2	0	0	12	*	米村 知紗	4	0	2	0	4
14	*	上野千尋	27	0	7	13	3	13		野尻 絢那	3	0	1	1	3
								14		村木 花奈	−	−	−	−	−
								15		後藤 夏実	−	−	−	−	−
								16		蓑田 小百合	−	−	−	−	−
コーチ		福島雅人 / TEAM						コーチ		鹿毛 美智子 / TEAM					
		合計	65	4	19	15	11			合計	54	0	24	6	18

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

第1ピリオド:鶴屋百貨店はオールコートマンツーマン、山形銀行はハーフコートマンツーマンで試合開始。山形銀行#12宮崎のドライブインや#14上野のアウトサイドシュートで試合の流れを掴む。鶴屋百貨店は序盤シュートが入らず苦しい時間帯が続いたが、ディフェンスを3-2ゾーンに切り替えた事により、山形銀行のミスを誘いターンオーバーから速い攻撃で、#4伊藤のドライブインや#7坂田のゴール下シュートなどで簡単に流れを渡さず、鶴屋百貨店12-21山形銀行で第1ピリオド終了。
第2ピリオド:鶴屋百貨店は3-2ゾーンとマンツーマンディフェンスを使い分け、山形銀行にプレッシャーをかけ、リバウンドからの速攻や#13野尻のバスケットカウントなどで点差を縮める。一方山形銀行は、シュートがリングに嫌われリズムを失いかけるが、ピリオド終盤に#7本田のアウトサイドシュートや速攻などでリードを保ち、鶴屋百貨店23-31山形銀行で前半を終了する。
第3ピリオド:山形銀行はディフェンスのプレッシャーを強め、高い位置からボールを奪う。さらにオフェンスでは#14上野のリバウンドや、#6赤川のドライブインなどで相手のファウルを誘い、もらったフリースローを着実に決めリードを広げる。鶴屋百貨店は#12米村のシュートなどで得点するもターンオーバーが増え、流れをつかむことができず、鶴屋百貨店34-51山形銀行で第3ピリオドを終了。
第4ピリオド:鶴屋百貨店はオールコートマンツーにディフェンスを変え、スティールから#6田中、#8守田の得点で追いつくきっかけを掴み、じわじわと差を縮める。対する山形銀行は、ターンオーバーからから失点をするも、#14上野を起点としたオフェンスで加点。落ち着いた試合展開をみせ逃げ切り、鶴屋百貨店54-65山形銀行で試合終了。山形銀行が決勝へと駒を進めた。

担当者:井原 洸太郎(財団法人広島県ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ協会) (公財)日本バスケットボール協会